



水天宮 (すいてんぐう)

壇之浦の戦いで平教経の奥方(海御前)は敵将を切り捨て安徳天皇の後を追って海に身を投げました。その遺体は大積の浜に漂着し、里人が手厚く葬り水天宮として祀ったのがいわれです。

海御前は河童の総帥になったと言われ境内には硯石でできた海御前の碑や河童の像があります。

